授業科目名 Course Name	経営学の課題 Business Administration	教員名 Course Instructor(s)	吉田 秀政 （実務経験のある教員/学術博士）
		Eメールアドレス E-mail address	
授業形態 Class Format	講義	授業の方法 Mode of Instruction	単独
科目コード Course Code	DIBM303	配当年次・開講学期 Allocated Year & Semester	3年・前期
単位数 No. of Credits	2	卒業要件 Required or Elective to Graduate	全コース：選択
コース Track	全コース	オフィスアワー Office Hours	授業終了後随時。但し、e-mailにてアポイントメントを取ること
実務経験 Practical Work Experience	あり	教員の免許状取得 Teaching License	
到達目標 Goals	1.VUCAにおいて、企業や組織が直面する現代の経営課題を説明できる。 2.CSV、組織レジリエンス、DX・AI、人的資本経営、イノベーション、ESG、データ活用と倫理などの基本的な考え方を理解し、具体的事例と結びつけて考察できる。 3.企業活動を、利益だけでなく、社会的価値、地域との関係、人材、技術、持続可能性といった複数の観点から整理できる。 4.授業で扱った事例や資料を踏まえ、自分の考えを日本語で分かりやすく整理し、リフレクションペーパー、発表、レポートを通じて表現できる。 5.現代社会において企業や組織に求められる行動や判断について、自分なりの視点を持ち、課題に対する考えを述べることができる。		
授業の概要 Course Overview	本授業では、VUCA（変化が大きく先行きが読みづらい時代）において、企業や組織が直面する現代の経営課題を扱う。グローバル化、デジタル技術の進展、人口構造の変化、地域課題、環境問題などを背景に、経営を単に利益の問題としてではなく、社会、地域、国際環境、人、技術との関係のなかで総合的に捉えることを目指す。授業では、CSV、組織レジリエンス、DX・AI、グローバル化と地域企業、人的資本経営、イノベーション、ブランドと信頼、ESG、データ活用と倫理、起業と新しい事業づくりなどを取り上げ、企業や組織がどのように価値を生み出し、変化や危機に対応し、持続的な発展に向けて、どのような対応が求められるのかを考える。身近な企業や地域組織の事例、国内外の動向も参照しながら、資料読解、対話式講義、自由討論、事例研究、グループワーク、ジャーナル・ライティング、プロジェクト等を通じて理解を深める。理論と実務を往還しながら、現代における経営のあり方を考察する。		
ディプロマ・ポリシーとの関係 Diploma Policy Objectives	DP2　グローバル・リベラル・アーツ、国際ビジネス・マネジメント、ホスピタリティ・観光マネジメント、英語教育の各コースの教育を通じて基礎および応用知識を身につけ、活用する能力を身につけている。		
アクティブ・ラーニング Active Learning	1-(5) ジャーナル・ライティング 4-(1) 対話式講義 4-(3) 自由討論 4-(4) 事例研究 4-(9) 質問に対するグループワーク 4-(10) ペアで考えてシェア・グループで考えてシェア 5-(1) 学生が協力して行うプロジェクト		

履修条件・注意事項 Prerequisites / Remarks	・資料読解、ディスカッション、発表、リフレクションペーパー作成を行うため、毎回の予習復習を前提とする。 ・ニュース、企業活動、地域社会の動きなどに日頃から関心を持ち、授業で扱うテーマについて自分なりに考える姿勢を求める。 ・授業ではPC、タブレット等のデジタルデバイスの活用を推奨する。		
授業計画 Course Schedule	No	内容	授業外学習
	1	**オリエンテーション ～本授業で何を学ぶのか～** 授業の目的、進め方、到達目標、成績評価方法を説明する。そのうえで、現代社会では企業や組織がどのような課題に直面しているのかを概観し、本授業全体の流れを理解する。	事前：最近の企業活動や地域経済に関するニュースを1つ選び、企業や地域組織が直面している変化を一つ挙げる。（90分） 事後：リフレクションペーパー（学んだこと・気づいたこと・疑問に思ったこと）提出（90分）
	2	**現代社会の変化と企業環境 ～VUCAとは何か～** VUCAという考え方を手がかりに、現代の企業環境の特徴を整理する。不確実性、複雑性、変化の速さが、企業の意思決定や経営課題にどのような影響を与えるかを考える。	事前：身近な企業または業界を1つ選び、近年どのような環境変化を受けているかを3点整理する。（90分） 事後：リフレクションペーパー提出（90分）
	3	**企業と社会の関係 ～CSV／企業の利益と社会への役立ちを両立させる考え方～** 企業価値と社会価値をどのように結びつけるかを学ぶ。社会課題への対応が、なぜ経営課題でもあるのかを考える。	事前：社会課題の解決に取り組む企業事例を1つ調べ、その取組が企業にもたらす利点を整理する。（90分） 事後：リフレクションペーパー提出（90分）
	4	**変化と危機への対応 ～組織レジリエンス／変化や危機から立ち直り、前に進む組織の力～** 企業や組織が危機や変化に直面したとき、どう持ちこたえ、立て直し、前に進むのかを考える。災害、感染症、風評、経済変動などへの対応事例にも触れる。	事前：危機を経験した企業・地域組織の事例を1つ調べ、何が回復の支えになったかを整理する。（90分） 事後：リフレクションペーパー提出（90分）
	5	**DX・AIと経営 ～仕事の変化と顧客価値～** DXやAIが企業活動、働き方、サービス提供の方法をどのように変えているかを考える。便利さと課題の両面を考える。	事前：AIまたはDXを活用している企業・自治体の事例を1つ調べ、「便利さ」と「課題」を整理する。（90分） 事後：リフレクションペーパー提出（90分）
	6	**グローバル化と地域企業 ～ローカルから広がる価値～** 地域企業が世界や広域市場とつながる意味を考える。地域資源、文化、品質などをどのように価値へ変え、広い市場へつなげるかを考える。	事前：地域発の商品・サービスで、県外や海外に展開している事例を1つ調べ、その強みを整理する。（90分） 事後：リフレクションペーパー提出（90分）
	7	**人材不足と人的資本経営 ～採用、育成、定着／人をコストではなく価値を生む存在として考える経営～** 人材不足の時代に、人を確保し、育て、活かすことがなぜ重要かを軸に、働き方、学び直し、職場環境の問題を考える。	事前：人材育成や働きやすさに注力している企業事例を調べ、その工夫を整理する。（90分） 事後：リフレクションペーパー提出（90分）
	8	**イノベーションと経営 ～新しい価値はどのように生まれるか～** イノベーションとは何かを学び、技術革新だけでなく、商品、サービス、仕組み、組織の変化も含めて考	事前：新しい商品、サービス、仕組みなどによって注目された企業事例を1つ調べ、どこに新しさがあるのかを整理する。（90分）

		える。企業が変化の時代に新しい価値を生み出すために何が必要かを考える。	事後：リフレクションペーパー提出（90分）
	9	**ブランドと信頼** **～顧客経験と選ばれる理由～** ブランドとは何か、信頼はどのように築かれるのかを学ぶ。商品そのものだけでなく、接客、情報発信、体験価値も含めて考える。	事前：自分が信頼している企業・店・サービスを1つ選び、「なぜ信頼できるのか」を具体的にまとめる。（90分） 事後：リフレクションペーパー提出（90分）
	10	**ESGと企業の責任** **～サステナビリティと社会的責任／環境・社会・組織運営の観点から企業を見る考え方～** 企業が環境、社会、ガバナンスをどう捉えるべきかを考える。持続可能性が経営に与える影響を整理する。	事前：ESGに関する企業の取組を1つ調べ、その意義と課題を考える。（90分） 事後：リフレクションペーパー提出（90分）
	11	**データ活用と倫理** **～プライバシー、AI、情報の扱い～** 企業がデータを活用する意義を学ぶとともに、個人情報保護、監視、AI倫理などの問題を考える。	事前：データ利用をめぐるニュースを1つ調べ、「便利さ」と「課題」を整理する。（90分） 事後：リフレクションペーパー提出（90分）
	12	**起業と新しい事業づくり** **～課題発見と価値創出～** 起業とは何かを学び、社会や地域の課題を見つけ、それに対する新しい事業を構想する視点を考える。大企業の新規事業と小規模な起業の違いにも触れる。	事前：地域や社会の課題を解決する新しい商品やサービスの案を簡潔にまとめる。（90分） 事後：リフレクションペーパー提出（90分）
	13	**現代の経営課題をつなげて考える** **～複数の視点による整理～** これまで扱ったテーマを振り返り、個別の課題が互いにどうつながっているかを整理する。	事前：これまでの授業で扱ったテーマのうち、互いに関係があると思う2つを選び、両者の関係をまとめる。（90分） 事後：リフレクションペーパー提出（90分）
	14	**総合演習** **～課題整理と対応策の検討～** 企業または地域組織の事例をもとに、経営課題を整理し、対応策をグループで検討し、発表資料を作成する。	事前：最終発表に向けて、テーマ、対象事例、論点を整理する。（90分） 事後：発表の準備（90分）
	15	**発表・総括** **～授業全体のまとめと振り返り～** グループ発表および全体討議を行い、授業全体を振り返る。VUCA社会における経営課題を再確認する。	事前：発表の準備（90分） 事後：授業全体を振り返り、学びや考察結果を整理したうえで、最終レポートを作成・提出する。（90分）
学生に対する評価 Assessment Criteria	成績評価の方法・基準 / Grading Method and Criteria： 本授業では、最終レポート30％、リフレクションペーパー30％、グループ発表20％、授業への参加・意欲20％により評価する。 フィードバック / Feedback： リフレクションペーパーへのフィードバックとして、思考過程が特に秀逸な記述を数点取り上げ、評価の理由とその理論的背景を丁寧に解説する。		
時間外の学習について Preparation and Revision outside	学生は、1時間の授業に対して少なくとも1時間の復習と1時間の予習をすることが求められる。		

Class	
テキスト Textbooks	授業で使用する資料は、デジタルデバイスを用いて、前日までにPDFで配布する。
参考書・参考資料等 References	授業中に適宜紹介する。
備考 Remarks	【実務経験を活かした授業】 担当教員は、公益・収益型外郭団体や道の駅の経営改革および人材育成、中小企業経営者に対する経営指導等の実務経験と研究知見を踏まえ、授業を行う。